

長崎県立大学シーボルト校生協 Coop Kitchen



[健康と安全]

取り組み概要

日時：2020年12月～2021年2月

場所：Instagram

参加者数や組合員の反応：おいしそうで作ってみようと思ったや、これを見た瞬間にお腹すいたなどうれしい言葉を直接たくさんもらった。

背景や概要：新型コロナウイルスの影響で食堂の企画ができなくなったため、1週間おきに学生委員が交代で料理を作り、その写真とレシピをInstagramに掲載した。

組合員の食生活をSNSで支える

POINT.1

SNSを使い、1人暮らし生の自炊をサポート！



対面で食堂を使った企画ができないため、SNSを使って栄養満点の自炊レシピを掲載！掲示ではなく SNS での配信にすることで、家で何度も見ることができます。Instagramに投稿すると毎回40個前後のいいねをもらうことができ、直接組合員から「おいしそうだから作ってみたい」といった言葉をもらうことができました。

誰でも簡単にできる料理にこだわり、発信することで普段自炊をしない人でも取り組みやすい企画になりました！

POINT.2

栄養健康学科の学生委員を巻き込んでいる

長崎県立大学シーボルト校には栄養健康学科という栄養学を学ぶ学科があります。この企画では、栄養学を専攻している学生委員を巻き込み、より専門的に組合員の健康を考えたメニューを発信することができます！

学生委員会内で、大学での学びやお互いの得意なところを上手く活動に取り入れることによってより良い活動ができていますね☆



POINT.3

食育に対する想いはそのまま！

組合員の現状に合わせた取り組み方を考えられた



長崎県立大学は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で1月から2月下旬までサークル活動が中止に。そのような状況を踏まえ、SNSで組合員の食生活をサポートできました。

これまでの「組合員の食生活をサポートしたい」という食育に対する想いはそのまま、現状に合わせて取り組み方を柔軟に考える学生委員の姿がありました。